

## 協力 2 町での調査実施について（案）

令和 5 年 6 月  
広島県

## 1 目的

- 「集落対策の方向性」の検討にあたっては、中山間地域の実情を把握したうえで持続可能な地域運営の仕組みや最適化された行政サービスのあり方等の検討が必要。
- そのため、検討に資する詳細情報を得るため、安芸太田町及び神石高原町の協力の下、町内のすべての住民自治組織等及び町を対象とした調査を実施する。

## 2 調査対象地域

安芸太田町及び神石高原町及び同町内のすべての住民自治組織等  
（人口減少率が高いことが見込まれる自治体を選定）

## 〔調査対象〕

—— で囲われた組織の単位ごとにヒアリング

その際、--- の範囲については、地域運営のための独立した会計を有し、単位自治会に近い意思決定権限を有しているものがあれば、単位自治会に準じた情報を収集する。

| 名称                                  | 地域単位                               | 機能  |
|-------------------------------------|------------------------------------|---|
| 市町自治会連合会                            | 現市町単位                              |   |
| 地区自治連合会<br>(まちづくり協議会・<br>コミュニティ協議会) | 合併前町村・小・中学校<br>区単位(自治会等を中心<br>に構成) | ○市町と地元をつなぐとりまとめ機能<br>○市町の末端行政サービス提供機能                         |
| 単位自治会<br>(町内会・自治区等)                 | 大字等                                | ○地域自治連合会に各種役員を提供<br>○住民自治(意思決定と各種活動の実<br>施)を構成する最小単位          |
|                                     | 集落<br>(農業集落)                       | ○葬式, 回覧, 身近な声掛けなどの支え<br>合い(近所付き合い)等<br>○地域慣習や伝統に支えられた地域社<br>会 |
| 常会・組・講・区・班・<br>講中等                  | 小字等                                |   |

### 3 調査の概要

#### ① 集落調査

| 区分       | 内 容   |
|----------|---|
| 目的       | 地域で暮らし続ける上での限界点、コストの現状などを把握し地域の持続可能性を高めるために必要な機能等の検討に活用。  |
| 内容       | <p>住民自治組織<sup>(※)</sup>の代表者等を対象に、次の現状についてヒアリング調査を実施。<br/>         &lt;詳細項目 P3～&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民自治組織による地域活動の現状と運営する上での課題</li> <li>・ 財政規模（主な財源、使途など）</li> <li>・ 課題解決に応じた周囲からの支援の状況</li> <li>・ 高齢独居世帯や高齢夫婦世帯等の状況</li> <li>・ 集落での生活を維持する上で必要な機能</li> <li>・ 中山間地域の資源・可能性・ビジネスチャンスの提供等新たな取り組み</li> <li>・ 移住者の受入態勢、関係人口の拡大等の活動 など</li> </ul>  |
| 進め<br>方等 | <p><b>【対象組織数】</b><br/>         安芸太田町（61 自治会）及び神石高原町（30 自治振興区）の住民自治組織<sup>(※)</sup><br/> <b>[先行調査の実施]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6～7月上旬に事前に選定した集落で先行調査（※）を実施し、中間整理時に活用（安芸太田町9集落程度、神石高原町12集落程度）</li> <li>・ 先行調査地区の選定の考え方 [安]: 安芸太田町、[神]: 神石高原町             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 拠点施設等に近い集落（旧町の中心部） [安: 3, 神: 4]</li> <li>② 生活支援活動に対する取り組み<br/>                 （見守り活動、デマンド交通の路線有、地域維持活動、高齢化率が低い、移住者を受入れ、地域おこし協力隊又は集落支援員が支援） [安: 3, 神: 4]</li> <li>③ 周辺部の小規模集落 [安: 3, 神: 4]</li> </ol> </li> </ul> <p>各町の②・③については、地理的条件、住民の熱意と現在の取組状況、協力の得やすさなどを考慮し、町と相談して決定。</p> <p><b>【対象者】</b><br/>         代表者及び役員、<u>団塊ジュニア世代以下の住民</u>、集落支援員、協力隊<br/>         集落維持関係者（民生委員）、<u>移住者等</u></p> |

※ 住民自治組織…実際に住民の暮らしを支える共助の機能を有しており、住民の日常生活における困りごと（道路・用水路等の維持管理や、鳥獣被害対策、伝統文化や祭りなどの行事、ゴミ収集場までの搬出、外出の補助など）に組織的に対応している中心的な組織である自治会・自治振興区等を想定

#### ② 自治体調査

| 区分 | 内 容  |
|----|--|
| 目的 | 地域の持続可能性を高めるために実施する支援内容、費用を基に今後必要な機能等の検討に活用する。   |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町の状況（財政規模、主な財源、今後の財政推計、今後の課題、人口、高齢化率）、</li> <li>・ 生活維持への支援（住民自治組織への支援内容、コスト、見守り）</li> <li>・ 道路・施設維持費用（ラストワンマイル（町道・林道・里道）の管理</li> <li>・ 生活インフラの整備状況（上下水道、ガス、通信環境、CATV等）</li> <li>・ 事業者支援（既存事業者の生産性向上）</li> <li>・ 地域資源の活用（収益化等の取組み）、ビジネス化（起業支援、企業誘致等）</li> <li>・ 移住者の確保策及びコスト</li> <li>・ 今後住民自治組織に委ねたい若しくは引き上げを検討せざるを得ない機能</li> </ul> |
| 対象 | 安芸太田町及び神石高原町の担当課   |

③ 調査項目及びヒアリング対象

※ヒアリング対象は各自治振興区又は自治会の役員を基本

| 項目  | 詳細項目   | ヒアリング対象（追加分）         |
|---|--|----------------------|
| 集落人口等について<br>※将来予測に活用                                 | 集落人口・世帯、高齢人口・世帯、独居世帯<br>後期高齢人口・世帯、生産年齢人口                                   | 町                    |
| 集落維持活動について（実施状況・必要費用・活動に対する住民意見等）<br>※世代ごとの価値観の違い等を把握 |  |                      |
| 管理施設、管理の状況  | 公民館・集会所、公園・広場、道路、防犯灯、水路・側溝※管理状況・経費・負担感                                     | ・団塊ジュニア以下住民          |
| 生活維持機能の提供   | 商店・ガソリンスタンド等の運営及び費用見守り、移動手段の提供コストと役務の提供                                    | ・集落支援員<br>・協力隊       |
| 共同管理の状況   | 対象（農地面積・森林面積）<br>管理回数・対応者・費用・負担感   | ・移住者<br>・町           |
| 共同作業の状況   | 耕作、集落内清掃活動、ごみ収集場所維持・負担感  |                      |
| 文化・歴史施設等  | 寺社・仏閣・神社※維持経費含<br>祭り・季節の祭事<br>(開催状況・運営経費・負担感)                              |                      |
| 生活維持機能について（実態・利用費用等）                                  |  |                      |
| 生活必需品の調達先   | 商店（商業施設）、移動販売、生協、地域運営店舗等の有無<br>上記の利用エリア、利用頻度                               | 町・社協                 |
| 宅配・配食サービスへのアクセス                                       | 宅配・配食サービスの有無、経費（運営・利用）   | 町・社協・民生委員            |
| 医療施設へのアクセス・利便性  | かかりつけ病院、緊急時の対応病院、オンライン診療、利用エリア、利用頻度  | 町・社協・民生委員            |
| 生活資金の確保   | 金融機関・ATM設置場所   | 町                    |
| 燃油購入場所へのアクセス  | ガソリンスタンド   | 町                    |
| 移動手段の確保状況・維持経費  | 公共交通（JR・バスの状況・採算性含む）<br>デマンド交通（採算性含む）<br>有償輸送（〃）（採算性・労働力）<br>免許返納者数・今後の増加数 | 町<br>町・社協            |
| 公共インフラの等利用状況  | 上下水道、プロパンガス、インターネット、CATV等  | 町                    |
| 見守り機能について（利用状況等）                                      |  |                      |
| 介護施設等へのアクセス・利便性<br>収容可能人数、介護人材充足状況                    | 老人福祉施設・訪問介護機能（運営状況含）<br>介護人材充足状況   | 町・社協<br>・民生委員        |
| 子育て支援、教育機関等   | 保育所、幼稚園当施設、人材充足状況  |                      |
| 見守り機能の有無と見守り対象人数<br>（高齢者及び子供）                         | 配達人（郵便・新聞）、女性会・民生委員・自治体、ボランティア<br>近隣・自治体・他出子                               | 町・社協・民生委員<br>住民アンケート |
| 危機対応機能について（活動状況等）                                     | 自主防災組織・消防団の有無  | 町                    |
| 今後の居住意向について等  |  |                      |
| 生活維持が難しくなった場合   | 転出先想定（福祉施設・他出子）  | 住民アンケート              |
| 他出子の動向  | Uターン可能性  | 住民アンケート              |

| 項目   | 詳細項目   | ヒアリング対象<br>(追加分)   |
|--|--|--|
| 集落の持続に向けた活動について  |  |  |
| 関係人口の拡大  | 他地域との交流イベント等の開催<br>関係人口拡大に向けた<br>※実施状況・経費・課題                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・団塊ジュニア以下の住民</li> <li>・協力隊</li> <li>・移住者</li> <li>・町</li> </ul> |
| 移住者の確保   | SNS等でのPR<br>移住体験ツアー等の実施<br>※実施状況・経費・課題                         |  |
| 地域内に資金が入る仕組み化<br>地域内の資金循環の仕組み化<br>※AI全盛が想定される中で提供できる<br>実体験の価値 | 地域製品の販売・ビジネス化<br>6次製品の開発・販売の取組<br>体験ツアーの造成<br>教育へフィールドワーク機会を提供 |  |

**【論点】**

・調査項目、先行調査個所選定の考え方について

(持続可能な地域運営の仕組みや最適化された行政サービスのあり方の検討に必要な調査項目、ヒアリング対象、ヒアリング地区のとらえ方)

## 過年度に実施調査の調査項目

- ・調査名：生活実態調査
- ・調査期間：令和3年7月～令和4年3月
- ・調査対象：住民自治組織（100組織）
- ・調査方法：役員、集落支援員等から現地等で聞き取り

**1 地域における住民自治の体制について**

- ① 地域の人口・世帯数（人口，世帯数，高齢化率）
- ② 住民自治組織の体制について（組織単位，組織体制，財政・会費等）
- ③ 住民自治組織以外の住民団体の活動状況
- ④ 集落単位での活動状況（自治組織よりも小さい単位）
- ⑤ 小規模集落（字・常会・組・班・講中等）の状況 いる？
- ⑥ 住民自治組織を運営する上での困りごと

**2 集落の生活実態について**

- ① 住民の日常生活での活動範囲（買物，通院，通勤・通学，その他）
- ② 日常的な交通手段
- ③ 集落住民から受ける困りごと等の相談の状況及び対応状況  
（鳥獣被害等，農業・耕作放棄地，草刈り等，空き家対策，防災，上下水道等，道路，地域の祭り・イベント，地域施設等，その他）

**3 高齢者のみ世帯の生活状況について**

- ・地域での日常的な見守り・支援体制
- ・地域での災害時等緊急時の支援体制
- ・他地域に居住する子・孫世代等の支援の状況（関係人口の存在）

**4 集落の存続に向けての課題・取組みについて**

- ① 担い手の確保に向けた方策
  - ・移住者（Uターン含む）の受入れ
  - ・地域の持続性を確保するために必要な機能
- ② 行政（国・広島県・市町）による支援が求められること

**5 その他**

今後予測される地域の姿